

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年01月29日

計画の名称	市町村道における雪や災害に強い安全で安心な道路整備の推進（重点）（防災・安全）											
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	村上市,新発田市,胎内市,五泉市,燕市,弥彦村,加茂市,田上町,小千谷市,魚沼市,十日町市,津南町,南魚沼市,湯沢町,阿賀野市,聖籠町,妙高市,阿賀町,柏崎市,糸魚川市											
計画の目標	防雪・消融雪施設の整備により冬の円滑な道路交通を確保する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,971	A	7,971	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R9末
1	老朽化による修繕・更新が必要な防雪・消融雪施設のうち、5ヵ年（R5年度～R9年度）で対策が必要な箇所の完了率を向上させる。 老朽化による対策が必要な箇所のうち、5ヵ年（R5～R9）で対策が必要な箇所の「完了率」を100%にする。 対策完了率 = (対策を完了した箇所) / (対策が必要な箇所) × 100	0%	%	100%
2	冬期交通事故発生件数を減少させる。 冬期交通事故発生件数を59件まで減少させる。 12月～3月の交通事故発生件数	62件	件	59件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	道路	雪寒	田上町	直接	田上町	市町村道	雪寒	(2)羽生田・寺前線ほか	消融雪施設更新 L=0.37km	田上町						60	-	
	A01-014	道路	雪寒	小千谷市	直接	小千谷市	市町村道	雪寒	(1)本町山本線ほか	消融雪施設更新 L=1.31km	小千谷市						148	-	
	A01-015	道路	雪寒	魚沼市	直接	魚沼市	市町村道	雪寒	(1)市道吉田31号線ほか	消融雪施設更新 L=0.71km	魚沼市						165	-	
	A01-016	道路	雪寒	魚沼市	直接	魚沼市	市町村道	雪寒	(他)市道宮田4号線ほか	消融雪施設更新 L=1.83km	魚沼市						228	-	
	A01-017	道路	雪寒	魚沼市	直接	魚沼市	市町村道	雪寒	(1)市道島発電所線ほか	消融雪施設更新 L=0.79km	魚沼市						130	-	
	A01-018	道路	雪寒	十日町市	直接	十日町市	市町村道	雪寒	(1)本町西線ほか	消融雪施設更新 L=4.1km	十日町市						560	-	

事前評価チェックシート

計画の名称： 市町村道における雪や災害に強い安全で安心な道路整備の推進（重点）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 ・上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域課題と整備計画の目標の適合性）	
I. 目標の妥当性 ・地域の課題を踏まえた整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ・計画の目標と定量的指標が整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標がわかりやすい内容になっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容が整合している。	
II. 計画の効果・効率性 ・計画の目標と事業内容が整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 ・事業効果の見込みが妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民などの合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 ・住民などの合意形成が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

・住民等の活動や関連事業等と連携している。

○